



かりの光昭 活動ニュース

5月1日 No.5

住所：いわき市石森2丁目2-11 携帯：090-7564-3253

安心して子どもを生み・育てられる社会の実現を

安心して医療・介護をうけられる社会の実現を

I 女性会議が4月24日～25日、「自治体議員女性政策研究交流集会」を参議院議員会館会議室で開催。全国から社民党の女性議員を中心に60人が参加。テーマは

1. 改正介護保険制度の課題について

- ・介護サービス利用者の71%が在宅であるが、大手企業優先の政策が採られました。
- ・小規模・多機能+訪問介護・看護を基本とすべき。

2. フィンランドの子育てと子育てについて

- ・幼児期から老人まで本を読む習慣が身につく、生涯学習が徹底しています。授業料・教科書・副読本・給食について大学まで無料となっています。

3. 子ども・子育て新システムについて

- ・株式会社が幼稚園・保育に参入できるようになった。営利を生み出すために、子どもの詰め込みや人件費の削減につながり、質の確保が保たれるか心配です。

4. 第三次男女共同参画基本計画をすすめるために

でありました。参加した私には、これからの福祉・教育政策に活かせる内容でありました。



高橋教授：フィンランドの子育てを講演



交流集会参加の福島党首と握手

「いわき万本桜プロジェクト」に賛同 桜苗木を植樹



記念植樹：来年も咲くことを祈る

いわき市平第六小学校裏山の山林所有者・企業・個人が9万9千本の桜を植樹する「いわき万本桜プロジェクト」を発足させました。

「原発事故による放射能の負の遺産を克服するために、山一面に桜を植樹し、20年後、30年後の未来の子ども達に、満開の桜を見てもらい、いわきの土地を愛する人たちの気持ちを伝えたい」としています。

私も、その趣旨に賛同し、4月22日に妻と一緒に、桜の苗木2本を植樹しました。来年の春、桜の花が咲くことを今から楽しみにしています。